

豊中十三中 進路だより

2026.9.8 <<進路指導委員会発行>>

●十三中の近くにある私立高校の主な入試変更点について。

この夏休み中に色々な高校を見に行ったり説明会に参加しましたか？7月下旬の公立進学フェアや8月中旬の府私学展にはとても多くの生徒・保護者が来場していました。

2学期は『数校ある候補校の中から1つに絞っていく』時期です。気になった高校があれば、必ず「実際に自分が通学する方法・ルート」で説明会等に参加して下さい。なぜなら、高校入学後は“あなた自身”が通学するからです。



下に、十三中の近くにある私立高校の主な入試変更点をまとめたので読んでおいて下さい。

高校名	主な変更点
薫英女学院	国際科は国際探究コース、普通科は選抜特進・英語探究・文理探究コースに改編。
四天王寺	文理選抜コースは35人→40人、文理コースは90人→80人募集へ。
相愛	アドバンスキャリア(特進)コースと音楽科は共学になり、男女を募集。
英真学園	募集定員を300人→245人へ変更。
関大高等部	入試方式の変更で、方式Ⅰ・方式Ⅱに分けて募集。
常翔学園	スーパーコース、アカデミックコースⅠ・Ⅱに改編。
箕面学園	メイプルコースを新設。
箕面自由	クラブ探究コースの募集定員を80名→120名へ。
履正社	国際教養コースを新設。
早稲田大阪	資格点数化区分の対象を、英検・数研の準2級以上に変更。

《大阪府及び他府県にある私立高校の授業料について》

今年4月に入学した生徒から、大阪府と国の制度により授業料は完全無償になりました。昨年度は、「一旦、授業料を納付し、後に返金する」という高校もありましたが、今回から全ての高校で授業料の納付は一切不要になりました。ただし、高校入学後に手続きが必要なので忘れないように。

なお、大阪府以外にある私立高校で国の就学支援金を上回る授業料が設定されている場合は、その差額を支払う必要があります。詳しくは、各高校の説明会等で聞いて下さい。

★令和9年(2027年)度の公立入試の変更点など

中3生が受験する来年2月・3月の公立入試の内容は、今年10月中旬に公表される予定ですが、中2生が受験する時に「入試日や入試のシステム」が大きく変更されるので、今回は殆ど変更がないと予想されます。

詳しい内容が発表されたら進路だよりで紹介しますので、必ず読んで下さい。



●淀川から北にある公立高校等の『取り組み』まとめ

今年8月に、淀川から北にある全ての公立高校・高等支援校に「各学校の取り組み内容を記入・提出してほしい」と依頼し、全校分が揃いましたので、十三中 HP にアップしました。

ここには、「自転車通学はOKですか?」「1時間目の開始時刻」「制服がある／ない」「今年の修学旅行の行先と費用」をはじめ、受験生が知りたい情報がいっぱい書かれています。特に、一番下にある「中学生から『どんな学校ですか?』と尋ねられたとき、一言で説明するなら?」は、各高校の特徴や中学生へのメッセージが書いてあるので、公立高校を希望する人は必読です!!

●府育英会奨学金の申込書類は、10月8日(木)までに提出を。

左側に書いてあるように、今年4月から大阪府にある公立高校・私立高校ともに授業料は完全無償になりましたが、それ以外で実際に支払う金額は・・・

◆私立高校・・・4月入学までに20万円～30万円、1年間で50万円～60万円

◇公立高校・・・1年間で20万円～30万円 *上に書いた『取り組み』まとめを参照して下さい。

私立高校の中には入学金を上げるという高校が複数あり、それらを2月～3月中に支払う必要があるため、育英会奨学金をお考えの場合は早めに担任に伝え、『予約奨学生申込のしおり』を受け取って下さい。

入学金等の大きな金額をまかなうための『入学時増額奨学資金』は、今回しか申し込みができませんので注意して下さい。



●英語資格は「いつまでの取得分」が入試に活用できますか？

先日、上記の問い合わせをいただいたので、私立入試と公立入試の場合に分けて説明します。

まず、私立高校は各高校によって「英語資格(主に英検)の活用は行っていない／活用を行っている」が異なるため、説明会等へ行って正確な情報を聞いて下さい。

また、活用を行っている場合でも「その活用方法」は高校によって違うので注意して下さい。

【下記は、英検等を活用する場合です】

- ①英検の“級”による読み替え率と当日入試点と比べ、2つのうちの高い方の点数を用いる。
- ②英検の“級”によって、当日の英語の入試点に『加算』をする。
- ③英検・数検等の“級”によって、当日の入試合計点に『加算』をする。
- ④3月末までに取得した英検の“級”によって、奨励金を支給する。

主な活用方法は①～④です。次に「いつまでに取得した分が活用できますか？」の答は、「11月（又は12月）末まで」「中学校が出願する日まで」「高校の出願期間の最終日まで」のように、高校によって異なりますので、こちらも説明会等へ行って必ず確認して下さい。

また、①～④のどの場合でも資格証明書のコピーを提出しなければいけません、「そのコピーには、中学校長による証明が必要（又は不要）」「高校が指定する台紙（殆どが受験校のHPにあり）にコピーを貼ること」等、高校によって対応が異なるので注意して下さい。

次に、大阪府の公立高校を受験する場合は、上の①の活用で内容は次のように決められています。

TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能検定	読み替え率（＊）
60点～120点	6.0～9.0	準1級・1級	100%
50点～59点	5.5	（対応なし）	90%
40点～49点	5.0	2級	80%

（＊）現中2が受験する来年度入試から、読み替え率はそれぞれ『10%マイナス』になります。

次に、「いつまでに取得した分が活用できますか？」の答ですが、昨年度までは次のような日程を大阪府教育庁が示していました。

●注意して下さい・・・下記は昨年度入試での『従来型の英検活用』の場合です。

検定回		特別選抜（2/17 出願締切）		一般選抜（3/6 出願締切）	
		A 日程 （3/1 二次）	B 日程 （3/8 二次）	A 日程 （3/1 二次）	B 日程 （3/8 二次）
令和6年度以前		可	可	可	可
令和7	第1回	可	可	可	可
	第2回	可	可	可	可
	第3回	不可	不可	不可	不可

つまり、公立高校では『特別選抜・一般選抜の出願締切以前に取得した分』が活用可です。

しかし、今回の公立入試において大阪府教育庁が作成した資料には、左下のような日程表は示されていなかったもので問い合わせたところ、「今、英検 S—CBT を受験する者が増えていて、従来型の英検による日程表を示すと『間違いやすい』『誤解する』という声があったため、日程表を示すのを止めた。」と回答がありました。

公立高校を受験し、その際に英語資格の活用を考えている場合、各ご家庭で英検 HP を見て「受験する日と合格発表日」を確認して下さい。

なお、私立高校とは違って、公立高校を受験する場合に英語資格を活用するなら・・・

■中学校に取得した“級”の紙の証明書（原本）を持って来る。

↓ ↓ ↓

■中学校が、その証明書をスキャンしてオンライン出願システムにアップロードする。

という作業が必要なので、資格活用を考えている人には「◎月◎日までに証明書を持って来なさい。」と担任の先生から指示をします。指示された日までに、必ず証明書を提出して下さい。

